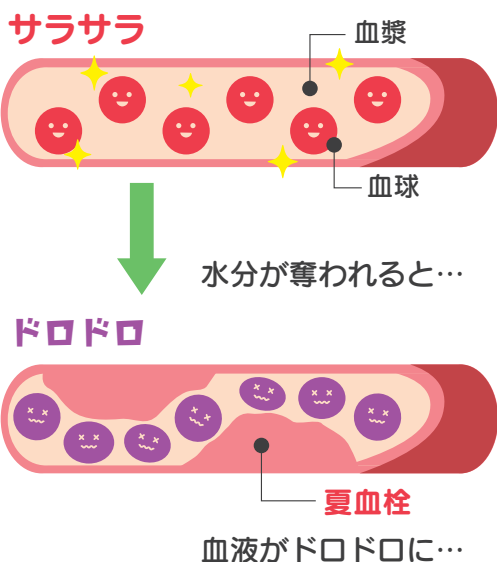




# 気温が高くなる夏も心筋梗塞に注意！



冬に多いとされる心筋梗塞ですが、暑い季節は脱水による心筋梗塞が起こりやすくなります。血液は血漿と血球でできており、血漿の多くは水で、その中に血球が浮かんでいます。水分が不足し脱水になると、血液中の血球の割合が多くなり、血液がドロドロになります。こうして血栓ができやすくなり、血管が詰まることで心筋梗塞を発症します。



## 心筋梗塞の痛みとは？

### ● 痛みの部位

多くの場合、胸・胃・肩・背中・のど・歯など、心臓を中心に、約30cmの範囲で痛みを感じます。



### ● 胸痛の感じ方

締めつけられる感じ、喉が詰まる感じ、圧迫感、息苦しさ、押さえつけられる感じ、吐き気など感じ方は様々です。**冷や汗をかく胸痛には特に注意が必要です。救急車を呼びましょう。**

※糖尿病の方は、痛みを感じにくいいため注意が必要です。



暑い季節は脱水になりやすく、血栓ができやすい状態になります。夏は熱中症の予防も兼ねて、適度な水分補給をこまめに行いましょう。

救急看護認定看護師 直井みつえ

## 薬

やくすりに立つ！  
のあれこれ

## File.32

## ポリファーマシー



“ポリファーマシー”という言葉をご存じですか？

テレビや新聞などで目にしたことがある方もいらっしゃるかもしれません。今回は「ポリファーマシー」についてご紹介します。



ポリファーマシーとは、多くの薬を服用しているために副作用が起きている状態や、きちんと薬が飲めなくなっている状態をいいます。単に服用する薬の数が多いことではありません。特に高齢になると、複数の病気をもち受診する医療機関が増えるため、薬が多くなる原因となります。服用する薬の数が増えることで薬同士が相互に影響し合い、薬の効果が強くなったり弱くなったりすることがあるため、注意が必要です。

多すぎる薬を減らすことは大切ですが、勝手にやめたり減らしたりしてはいけません。病状によって適切な薬の種類や数は変化するため、必ず医師や薬剤師へ相談してください。

複数の医療機関にかかっている方は、お薬手帳を活用し、医師や薬剤師に自分の服用している薬を把握してもらいましょう。

調剤課 岩松真理香